

栄区民文化センター リリス

平成30年度業務計画及び収支予算

神奈川共立・JSS共同事業体

1 施設の概要

施設名	栄区民文化センター リリス
所在地	横浜市栄区小菅ヶ谷一丁目2-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上6階建ての地下1階から3階部分の各一部を占有（区分所有）
敷地・延床面積	占有延床面積 2,977㎡
開館日	平成10年2月1日

2 指定管理者

法人名	神奈川共立・JSS共同事業体 代表企業 株式会社神奈川共立
所在地	横浜市西区岡野2-6-6 ISAビル4F
代表者	大久保芳一
設立年月日	昭和60年11月
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

当共同事業体は、第三期指定管理期間（以下、第三期）では第一期、第二期で構築した「リリス・ブランド」の実績を踏まえ、第一期、第二期でも標榜した「区民の誇りとなり、すべての方から信頼される施設」を基本方針に、本施設の特徴づくりを今まで以上に展開していくことにより他施設とは異なる「唯一無二の存在」への発展を掲げて運営にあたります。

また、栄区が推進する「セーフコミュニティ」等の行政課題を念頭に、地域ぐるみで「安心・安全なまちづくり」への取り組みを行ってまいります。

(2) 平成30年度の位置づけ

①事業の方針

第三期の三年目にあたる平成30年度は、指定管理期間の中間年としてこれまでの2年間を振り返るとともに、ミッションの達成度を改めて確認・検証し、今後のさらなる発展、また地域への貢献につなげられる体制をより強固に構築し、随時改善に努めてまいります。

開館から20年かけて築いてきたリリスブランドをよりいっそう盤石なものへとする為、好評を頂いている文化事業の基本骨格は継承しつつ、チラシデザインや公演内容の拡充、広報地域の拡大などを行い、これまで築いてきたリリスファンの満足度を下げることなく、新たなファン層の獲得を目指します。

リスが誇る最高品質の鑑賞事業「リス・プレミアム・クラシック」では、日本を代表するオーボエ奏者古部賢一と、世界的チェンバロ奏者クリスティーネ・ショルンスハイムによる、珠玉のバロックをお届けします。好評の「午後の音楽会」に於いては、年12回のうち2回実施していた「午後の音楽会プレミアム」を年4回とし、より高品質な音楽を身近に感じて頂ける音楽会にいたします。また、音楽やアートを身近に感じていただく初心者向け講座「リス芸術大学」では、栄区出身の作曲家でありピアニストの加藤昌則氏による「クラシック学部」を継続実施。リス・レジデンス・アーティスト事業では、昨年卒業した2名による「卒業コンサート」を開催します。また、提携事業として音楽事務所等と共催することにより、単独主催では実施が難しい海外の一流アーティストによる公演を開催します。「鑑賞⇒感動⇒関心⇒活動」を意識した事業制作を継続し、「レセプションボランティア」等の活動を通して相互に響き合う“ハブ”としての使命を強く自覚し、更なるステップアップを図ります。

②運営の方針

区民の来館や利用を促進させるための方針と賑わいの創出、地域の文化の拠点としての機能と近隣施設との交流、協力、連携を実現します。

- ・ これまでのノウハウを活かし、サービス向上や積極的な情報提供・広報宣伝につとめるとともに、館内のバリアフリー化をはじめとした多様な利用者の立場に立った利用環境の整備を促進します。
- ・ 第一期・第二期で積極的に行ってきたアウトリーチ活動を継続発展させ、各種団体へさまざまな協働を提案し地域の芸術文化への関心を底上げします。また複合施設であることの利点を活かし、地球市民かながわプラザとのコラボレーションを行い、建物全体の活性化を期した相乗効果を目指します。

③管理の方針

利用者のニーズを反映して、公平性・安全性を確保しながら満足度の高い運営を実現します。

利用者・来場者の立場にたったホスピタリティ溢れるサービスを行い、満足度の高い施設運営につとめます。また「ヨコハマ3R夢プラン」「エコ活」を踏まえ、施設内照明のLED化、空調効率の改善等を通じたエネルギー消費の削減、環境への配慮を継続して実践いたします。

平成23年3月の震災を受け、リスク・コミュニケーションとして、全スタッフによる災害図上訓練(DIG)を実施する事により、災害による被害や危険を事前に予測し、適切な避難経路、避難場所、即応性ある避難準備を徹底します。

4 事業に関する業務計画

(1) 鑑賞事業

- ・ 最高品質のコンサートとして、日本を代表するオーボエ奏者古部賢一と、世界的チェンバロ奏者クリスティーネ・ショルンスハイムによる、珠玉のバロックをお届けします。また、平日午後に気軽に質の高い演奏が楽しめる「午後の音楽会」シリーズは、年12回のうち4回はプレミアムコンサートとし、区民の要望に合わせたより高いレベルでの多彩なコンサートを展開します。
ヨーロッパアンジャズを中心に紹介している「リス・セレクション」ではノルウェーの若手気鋭ジャズヴォーカリスト シーリル・マルメダール・ハウゲとトップギタリスト ヤコブ・ヤングによる贅沢なデュオを

開催。多くの区民のニーズに対応した鑑賞事業を展開します。30年度では主催公演の他に共催公演の回数を増やし、区民の鑑賞機会をより多く創出します。

(2) 文化活動支援事業

- ・施設を使って練習している利用者へ発表の場を提供している利用者参加型無料イベント「IllisJUNK LIVE」を継続実施し、施設利用者への文化活動を支援し芸術文化への関心を高めます。また、25歳までの若手演奏家を対象にした、新規リリース・レジデンス・アーティストのオーディションを実施し、次世代を担う若手演奏家を支援する体制を整えます。

(3) 区民感謝事業

- ・夏休み期間を利用し、リリース全館を使ったイベント「リリースの大冒険」を継続開催。無料で参加できる企画を中心に、子ども達が普段はあまり入る事のない室場で開催する他、区内障害者授産施設などと協同開催することで、より多くの区民に芸術文化に触れていただくと共に施設の認知度を向上させ、区民に開かれた施設を目指します。
- ・栄区の次代を担う小学生を対象に自主事業「ファミリーコンサート」で「一日館長」を実施し、リリースにより親しんでいただくとともに文化・芸術への関心を高めていただく活動を継続して行っています。

(4) アウトリーチ事業

- ・音楽鑑賞系アウトリーチを中心に区内施設にて積極的に実施すると共に、これまで好評を得ている3歳～7歳の親子向け造形美術ワークショップ「コドモアートキャラバン」の継続実施など、リリースに来館された事のない方や、お子様からお年寄りまで全ての区民が芸術文化に触れる機会を創出します。
- ・これまで行ってきた施設以外に新規施設でのアウトリーチ活動を模索し、31年度の天井工事期間における施設外事業活動に備えます。

(5) 地域交流事業

- ・地球市民かながわアースプラザとの共同イベント「あーすフェスタかながわ」を継続開催。多文化共生を目的とし、地域交流を深め施設全体の賑わいを創造します。
また、地元商店街や自治会のイベントへの参加、技術広報協力などを積極的に行い、地域に根差した施設創りを継続します。

(6) 区民協働・人材育成事業

- ・音楽のみならず芸術全般に渡ってもっと身近に感じながら、楽しく学ぶ事のできる講座「リリース芸術大学」を開催します。体験とは違うスタイルでの講座で、より幅広い年齢層の方に関心を持っていただきます。
- ・区民、利用者からの意見交換を目的とした「リリースを支える区民の会」を継続し、自主事業を視察していただくとともに、ご意見をいただく機会を設けます。
- ・区民からのレセプションボランティアを継続し、自主事業でのお手伝いを通して区民の自主的な文化活動の際に役立つ知識を伝えます。
- ・各種研修を通してスタッフの人権・コンプライアンスに関する知識を深め、公共文化施設としての社会的役割を確実に果たします。

(7) 自主事業一覧

(別紙1「自主事業計画書」「自主事業年間スケジュール」)

5 施設の運営に関する業務計画

(1) 人員配置について

項目	人数	備考
館長	1人	運営管理事業全般にわたる統括責任者
事業担当責任者	1人	自主事業の企画制作業務全般にわたる責任者
受付事務責任者	1人	受付事務業務全般にわたる責任者
受付・事務・事業担当者	5人	受付・事務・事業の各業務
舞台管理責任者	1人	舞台管理業務全般にわたる責任者
舞台管理者	2人	舞台管理業務
カルチャースタッフ	12人	受付業務、事業補佐
緊急時バックアップ体制		各社マネジメント・バックアップ担当者

(2) 勤務体制について

- ・勤務はシフト制とし、職員は2交代、カルチャースタッフは3交代勤務とします。職員は、週5日・1日8時間勤務を基本とし、勤務時間内には必ず休憩を設けます。法令を遵守し、効率的かつ十分な配置を行います。

(3) 貸し館の目標について

- ・利用者による質の高い演奏会・展示会等に対して、後援等、名義使用の許認可のみならず、チラシの配布など、広報宣伝活動をバックアップしていきます。
- ・稼働の少ない、音楽ルーム・会議室等の平日午前・午後・夜間の稼働率アップを目指します。
- ・地元団体や練習利用者への発表会開催の提案、既存利用者へのきめ細かなサービス・相談対応を行い利用者満足度を高めリピーターの確保に努めます。
- ・設備の状態を日常的に確認するとともに、舞台担当者の安全意識を高め、利用者に対して的確な安全指導を行います。
- ・引き続き「鑑賞する施設」に加え「利用する施設」としての認知度を上げる活動に努めます。

(4) 休館日について

- ・年末年始以外、定期休館日は設けず、全館施設点検日は年間12日程度とし、その他の保守点検は部分的に諸室をクローズして対応します。

(5) その他の取り組みについて

- ・雑収入増のため、自販機の内容を随時利用者ニーズが高い商品へ見直しをいたします。
- ・文化芸術の振興・理解を深める目的で、自主事業や地元アーティストに関連するCDや図画書籍等の販売を行います。原則的に手数料なしの原価販売、あるいは販売業者・アーティストの直接販売とし、共同事業体の収益とする場合はその他収入に歳入します。

- ・平成31年度に予定されているホール天井改修工事に伴うホール貸出休止期間について、施工期間が決まり次第速やか且つ適切な情報公開を行い、利用者への影響が最小限に止まるよう努めます。

6 施設の管理に関する業務計画

(1) 清掃業務

施設における衛生的な環境の確保を図り、公衆衛生の向上を目的として行います。

(2) 防災防火設備

保守点検は専門業者に依頼し機能維持を図り、職員がこの設備がどのように機能して災害から施設を守るのかを習熟します。

(3) 舞台機構維持

専門業者による定期的な保守点検とメンテナンスを行い、設備が本来持つ性能を維持していきます。また、舞台管理のスペシャリストとしての繊細な気遣い、迅速な対応による日常点検、器具の性能管理により、事故やトラブルを未然に防ぎます。

(4) ピアノの維持

常駐舞台スタッフによる保管環境の維持、移動時などの扱いは慎重に行い、音程・音質からタッチに至るまでプロのピアニストの厳しい目に対応し、また長期的な総合管理をするため、専門業者による定期的に精度の高いメンテナンスを施します。実施回数が限られたオーバーホールを見据えたうえでの的確な耐用時期を見極め、更新の提案をいたします。

(5) 保守管理業務について

年間業務予定表(別紙2「保守日程一覧」「保守点検年間スケジュール」)

(6) 環境維持管理業務について

年間業務予定表(別紙3「清掃作業基準表」)

7 その他実施計画

(1) 情報コーナーの活用

情報コーナー全体を見直し、情報の整理と受発信機能の強化をします。

- ・ライブラリの見直しを検討します。
- ・情報交換掲示板の充実を図ります。
- ・館内案内サイン類の見直しを検討します。
- ・企画コーナーの設置を検討します。

(2) その他サービスの提供

- ・チケットの預かり販売を継続して行い、また販売促進につながるようチラシの配架等を行います。
- ・施設予約補助業務(シルバー、マイノリティへの対応)を継続して行います。
- ・利用者の便に寄与するサービス業務を常に模索し提案するよう努力します。
- ・備品の大型プリンターを活用し、一般家庭では難しい利用者のイベント等のA1版ポスター制作サービスを提供します。

8 収支計画

収支予算書

(単位：円)

項目	予算額	備考
収入		
利用料金収入	21,822,000	施設利用料、付帯備品使用料
自主事業収入	0	指定管理料充当の自主事業
自主事業収入	14,000,000	チケット収入、参加費収入等
その他収入	1,100,000	コピー、チケット販売手数料、自販機等
指定管理料収入	110,582,000	(消費税増額分、利用料金収入増税分含む)
合計	147,504,000	

支出		
人件費	67,817,000	常駐スタッフ、臨時スタッフ、カルチャースタッフ
事務費	8,525,000	旅費交通費、通信運搬費、消耗品等(租税公課、保険料増税分除く)
管理費	16,547,000	修繕費、設備管理(清掃等)、舞台設備、その他保守
文化事業費	13,424,000	文化事業費
負担金	25,891,000	管理組合負担費
光熱水費	11,800,000	電気・ガス・水道(上下水)
管理運営費	3,500,000	本社管理運営費
合計	147,504,000	

収支計	0	
-----	---	--

予算詳細(別紙4「平成30年度「栄区民文化センター」収支予算書」)